



# Community Letter

コミュニティーレター

神戸国際中学校・高等学校  
〒654-0081 神戸市須磨区高倉台7-21-1  
TEL : 078(731)4665 FAX : 078(731)4888  
HP : <http://www.kis.ed.jp/>

No.231 2018年6月18日

## たしかなこと ～第28回文化祭を終えて

忘れないでどんな時も きっとそばにいるから  
そのために僕らはこの場所で  
同じ風に吹かれて 同じ時を生きているんだ  
どんなときもきっとそばにいるから



高校3年生音楽選択者の歌声がアルモニホールに響く。舞台袖には KIS での数々の思い出の写真がプロジェクターで映し出される。歌う生徒がこらえきれずに目頭を押さえる。アナウンスを担当する高校3年生も思わず感極まって涙をぬぐっていた。

KIS の良さが濃密につまった時間でした。見ている人々も感動しました。最前列で鑑賞する中学生の眼がまっすぐに高校生に対して「憧れ」を感じながら一緒に口ずさんでいる姿も KIS のすばらしさを表わしていました。12歳の中学生が18歳の高校生にあこがれる、それは KIS ならではのことで。今回の文化祭は、招待者の枠を撤廃し基本的には誰に来てもらってもいい文化祭にしました。これも生徒会の積年の願いでもありました。心配もありましたが結果的には、本当に多くの方々に KIS 文化祭を楽しんでいただけたのではないかと思います。来場者が多く、模擬店や販売の商品数が不足するといううれしい悲鳴もありました。

KIS という同じ風に吹かれている現役生や同窓生の学校を愛する心と12歳から18歳という多感な時期をここで過ごす、同じ時を生きているという「たしかさ」が流れていることを感じさせてくれた文化祭でした。

保護者会、同窓会、卒業生、自治会の皆様、そして現役生、教職員の総力で素晴らしい文化祭を創り上げることができました。紙面をお借りして感謝申し上げます。



(生徒・保健部 I.Y)

## 外国語科からのお知らせ

### IPU New Zealand・IPU杯第9回高校生英語スピーチコンテスト全国大会 高校3年 M.T さん 入賞

3月24日(土)、IPU・環太平洋大学(岡山市)において「IPU New Zealand・IPU杯 第9回高校生英語スピーチコンテスト」本選が開催されました。全国の87名の応募者の中から予選を通過した26名(A:一般部門10名/B:海外経験者部門6名/C:チャレンジ部門10名)が全国から集結。高校3年のM.Tさん(コンテスト参加次2年)が、C部門の出場者として選ばれ、審査員と多くの観客を前に、堂々と元気あふれるスピーチを披露しました。大会テーマは「英語を通して学んだこと」でした。Tさんは昨年夏シンガポールを訪れた経験から、日本を訪れる外国人観光客に私達の英語が本当に通じているのだろうか、日本人が大切にしている「おもてなしの心」が伝わっているのか疑問に思うようになったことを話しました。その解決のため



には、私達若者誰もが2か国語、3か国語をしっかりと話せなければならない、そして、大学では観光産業について学び、日本の観光産業に貢献したいと主張しました。上位入賞にはあたりませんでした。一語、一語丁寧に発する姿勢に、熱い想いが伝わってきました。(英語科 K.N)



## ニューカレドニアでの短期留学を終えて S2-2 N.T

私は COLIBRI (コリブリ) の短期交換留学プログラムに参加し、3月10日から4月1日までの3週間、ニューカレドニアの家庭にホームステイしながら現地の高校に通いました。

コリブリとは、日本とフランスの高校生の交流のため、お互いの国が生徒を派遣しやすくすることを目的とする、在日フランス大使館の提案で作られた組織のことで、フランスやニューカレドニアで、日本語を習っている生徒と、日本でフランス語を習っている生徒が交流できる機会を与えています。



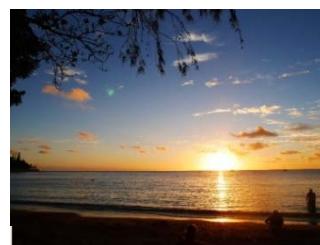
みなさんはニューカレドニアがどこにあるの知っていますか。ニューカレドニアは、フランス領土で、オーストラリアの東、ニュージーランドの北にあります。日本の四国ほどの小さな島国で、1年中温暖な気候です。

私はニューカレドニアでは、A.Sさんの家にホームステイし、ラペルーズ高校に通いました。Aのお父さんはフランス人で、お母さんが日本人のため、家庭内ではフランス語、日本語、英語で会話をしました。高校は日本の大学のような感じで、同じ学年でも、選択授業が異なると、登校時間や下校時間も人それぞれでした。日本と違う点も多く戸惑うこともありましたが、文化や生活の違いを見つけるのもまた、楽しかったです。

土日は学校が休みなので、友達とショッピングに行ったり、島に行って海で遊んだり、同級生を家に呼んで、お寿司パーティーをしたりしました。友達とも、フランス語、英語、日本語を交えて話していました。

私はフランス語に自信はありませんでした。しかし、ニューカレドニアに行く前に、ニュージーランド研修を経験していたので、外国語を使ってコミュニケーションを取ることの楽しさ、自分から積極的に関わろうとすることの大切さを実感していました。その経験があったからこそ、フランス語に不安はあってもニューカレドニアでの生活をとても有意義なものにすることができたと思います。英語、フランス語など言葉の違いやそれぞれの文化の違いがあっても、人と人が分かりあうためにコミュニケーションを取ることの大切さ、その楽しさをより実感した3週間でした。

出発前は不安の方が大きく、このプログラムに応募したことを後悔していたほどでしたが、まさかこのような貴重な経験ができるとは想像もしていませんでした。後輩のみなさん、チャンスは待っているだけでは、なかなか巡っては来ません。自分から積極的にこのようなプログラムにチャレンジして視野を広げてください。きっと素晴らしい経験が出来ると思います。ホームステイの受け入れができる生徒はコリブリに応募出来るので、後輩の皆さんにもこのプログラムをお勧めしたいです。6月4日から交換留学生のAがKISで3週間を過ごします。ぜひ声をかけてください!!



## トピタテ! 留学 JAPAN 留学報 S2-2 W.H

私は、小学生の時から「ミュージカル」を習っています。「ミュージカルの本場」といえば、NYのブロードウェイを思い浮かべる人が多いと思います。しかし、日本でも有名なミュージカル『CATS』や『オペラ座の怪人』は、ロンドンのウェストエンドから来ています。ウェストエンドというのは、ロンドンの中でも映画館や劇場が集まる文化の中心地です。そこで私は、本場ウェストエンドでレッスンを受けたいと思い、イギリスに4週間留学しました。

さらに私は、トビタテ！留学 JAPAN という制度を利用しました。皆さん、《留学》というと、《語学留学》を思い浮かべませんか？ところがこの制度は、アカデミック、プロフェッショナル、スポーツ・芸術、国際ボランティアという4つのコースに分かれています。私は、スポーツ・芸術コースで留学しました。この制度の魅力を3つあげると、まず初めに、トビタテでは留学生に対して、返済不要の奨学金が支給されます。これは、国や企業が日本の将来を背負う私たちへ期待を込めて贈られるものです。次に、私の場合もそうですが、決められたプログラムに参加するのではありません。自分のやりたいことを計画し、自分だけのオリジナルな留学プランを作ることができます。3つ目は、同じトビタテ生とつながることです。留学前後には研修会があり、個性豊かなトビタテ生が全国から集まって来ます。

私は今回、歌やダンスのスキルを学んだのはもちろんですが、他にも様々なことを学びました。イギリスでの生活は初めてのことばかりで、分からないこと、出来ないことが沢山ありました。しかし、私はそこでチャレンジする、ということが大切だと感じました。出来なくてもやってみよう、つたない英語でも話しかけてみよう、とチャレンジすることです。そうすれば必ず誰かが聞いてくれたり、見てくれたりしていました。

また、私はニュージーランド研修に行っていたおかげで基礎的な会話はできていましたが、やはりホストファミリー同士の会話や、現地の友達同士の会話はあまり理解できませんでした。しかし、今回私が強く感じたことは、英語は「言語」である、ということです。普段勉強していると、どうしても教科・科目と捉えがちですが、英語は「言語」であり、コミュニケーション手段なのだ実感しました。そう思うと「この人はどんなことを話すのだろう？」「こんな時にはどんな言い回しをするのだろう？」と、もっともっと英語を知りたい、学びたいと思うようになりました。

そして最後に私が言いたいのは、何事も自分次第だ、ということです。現地では、出来る出来ない、上手い下手に関わらず、やりたい！という人にチャンスが与えられていました。最初はなかなか勇気が出ず、悔しい思いもしましたが、少しずつチャレンジするようになりました。チャンスは全員にあり、それを掴むか掴まないかは、自分次第だということです。みなさんもぜひ、チャレンジしてみたいはかがでしょうか？



### 高校2年1組 K.Nさん

## Pacific Buddhist Academy (PBA ハワイ州ホノルル) 留学生に選出！

龍谷総合学園加盟の Pacific Buddhist Academy 高校への留学生に、高校2年生 K.Nさんが選出されました。この留学プログラムは平和教育に主眼を置いた宗教教育を通じて、仏教的な価値観と国際素養を備えた人の育成を目的としています。

2018年8月2日(木)～9月15日(土)までPBAの生徒と一緒に授業を受講します。なお、今回の選考にあたり、学力、人物とともに、4つの質問の内3つを選び英語で書くことが要求されました。その内の一つに、Peace is important to PBA, but is it important to you? Given an opportunity, how would you go about creating peace? という質問がありました。

Nさんはロニー・アレキサンダー著の“Popoki, What Color is Peace?”から、本当の平和とは何か、自分の日々の生活を通して考えたこと、また、広島原爆で亡くなった佐々木貞子さんの折鶴から、平和への願いが語り継がれていることを取りあげました。そして、平和の意味をPBAに集う仲間と共に考えたいと書きました。

若い人達が平和について真剣に考えることはとても大切なことです。PBAの仲間とともに、約1か月半の研修が実り多いものとなることを願っています。

(英語科 K.N)



## Aブロック ピッコロわくわくステージ

Aブロック（J1・J2）の生徒たちは、6月1日（金）にわくわくステージ（演劇鑑賞）に参加しました。午前中の授業の後、スクールバスで、尼崎のピッコロシアターに向かい、兵庫県立ピッコロ劇団の皆さんによる「さらばドラキュラ」を鑑賞しました。ユーモアあふれる内容に、笑い声の絶えないステージでした。講演の後には、大道具・小道具の説明もしていただき、皆満足して、学校に帰着しました。



(Aブロック主任 S.I)

# ブロック短信

## Aブロック

いよいよ初めての体育祭の練習が始まりました。ソールの練習、各競技の練習など、慣れないことも多いと思いますが、大変な時こそ、当たり前のことをきちんとやるのが大切です。うまくいかないことがあっても、みんながやる気を持ってがんばれるように、なるべくプラスの言葉を掛け合って取り組みましょう。

J1-1 担任 S.Y

体育祭の季節がやってきました。雨の日が多い梅雨も始まっています。朝練・昼練と体育祭の練習にも力が入ってきました。中学2年生は去年初めて体育祭を経験しました。その時、先輩たちの真剣な表情に、自然と負けたくないという意気込みがわいてきたそうです。今年も高校生の先輩たちの一助となるように全力で頑張っています。体調をしっかり整えて当日を迎えられるように。

J2-1 担任 T.N

## Bブロック

中間テストが終わりましたが、皆さんはどのような結果を収めましたか。高校の内容を学習するようになり、直前の学習だけでは成果を挙げられなくなっているのが、分かったと思います。普段からの努力を積み重ねていって下さい。さて、体育祭も間際になってきました。みんなで助け合い、一丸となって頑張りましょう。

J3-1 担任 S.K

文化祭での初めての販売。「POPTEEN」の店名、商品、売り方など、自分たちで考え、無事に利益を出すことができました。クラス会から拡大した有志での学年会、龍谷アドバンスト、絵本の翻訳コンクールなど、積極的に自主的活動に取り組んでくれています。社会と繋がり、人と繋がり、世界をどんどん広げて下さい。体育祭も頑張りましょう！

S1-1 担任 K.Y

## Cブロック

新学期が始まり早や、2か月立ちました。授業・学校行事（文化祭・体育祭等）に一生懸命取り組んでいる様子が見え、とても嬉しく思っています。特に体育祭では上級学年としての自覚とリーダーシップが要求されます。お互いに心を配り合いながら進めてほしいと思います。また、学習面に於いては、S2は自分の夢の実現に向けて基礎力を強化し応用力を培うとても大切な1年です。今の自分としっかり向き合い、日々の学習を大切にしてほしいと思います。 S2-1 担任 K.N

文化祭、中間考査、模擬試験等、様々な取り組みの中で、受験勉強との両立はうまくできているでしょうか。何があっても計画した学習時間を確保するということが優先順位の一歩目です。この後も体育祭、期末考査、模擬試験と続きます。忙しい日々を過ごしますが、確固たる意志を貫き、志望校に向けてレベルアップを図ってください。

S3-1 担任 T.Y